

ふれあい名古屋

2025 3月
March



若年性認知症本人・家族交流会「あゆみの会」の様子



特集

福祉クローズアップ

働き盛りの世代に発症する認知症とは？

若年性認知症支援コーディネーターの活動について

CONTENTS

社協活動最前線 名東区社会福祉協議会 … 5
想いをつなぐリレートーク …… 6
ほっとはあとコーナー …… 7

- 旬ボラに行く！
雨池ホテルの会
- きらっとボランティア・NPOらいぶ
ボランティアオアシス+野宿者を支援する会
- なごやボラめぐり
西区『マジックQ』

からだに優しいいきいきレシピ/
プレゼントつきクイズ …… 10
市社協事業紹介 …… 11
ご寄付・ご寄託・賛助会員のご紹介 …… 12

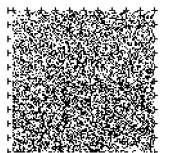
次回の発行は、
7月号となります。



な～や



ひとは、ひたむきに。
社会福祉法人
名古屋市社会福祉協議会



▲ Uni-Voice
高齢者や目の不自由な方
のための音声コードです。



働き盛りの世代に発症する認知症とは？ 若年性認知症支援コーディネーターの活動について

若年性認知症は、65歳未満で発症する認知症。しかしその認知度は低く、診断や適切な支援につながらないケースもあります。若年性認知症にはどのような特徴があり、どういった支援が必要なのか。名古屋市認知症相談支援センターの山口喜樹所長、若年性認知症支援コーディネーターの石黒瑞穂介護予防マネージャー、小林奈美穂主事にお話を伺いました。

「若年性認知症」とは？

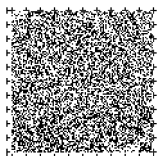
若年性認知症は、65歳未満で発症する認知症の総称です。一般的に「認知症＝高齢者の病気」というイメージがありますが、実際には働き盛りの世代で発症することもあります。そのため、本人や家族の精神的ダメージが大きく、経済的な困難や家庭内の介護負担が増加するケースが多いことが、高齢者の認知症との違いだといいます。加えて、若年性認知症支援コーディネーターの石黒さんは、「若い世代では認知症を疑う人が少なく、更年期障害やうつ病などと誤解されるケースも多い」と指摘。その結果、診断までに時間がかかり、必要な支援が遅れることが課題となっています。



小林主事、石黒介護予防マネージャー、山口所長

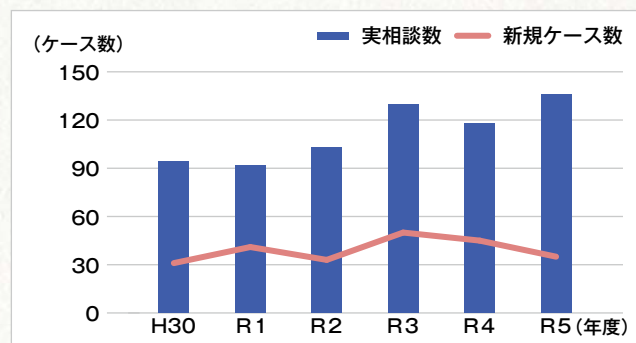


相談の様子



名古屋市の支援体制と歴史

名古屋市では平成25年10月に「若年性認知症相談支援事業」を開始し、平成30年には若年性認知症支援コーディネーターを配置しました。これらの取り組みは全国的にも先駆的であり、現在は2名体制で相談対応や支援を行っています。事業がスタートした平成25年度の実相談数は、71ケース。その後徐々に増加し、令和5年度は、実相談数は136ケース、そのうち新規相談は35ケース、延べ2,204件の個別支援を行いました。しかし、認知度の低さから窓口への相談につながらないことも多く、「市内には700～800人の若年性認知症患者がいると推計されていますが、相談に至らないケースもあるため実際数はもっと多い可能性があります」と山口所長は話します。



若年性認知症支援コーディネーターの役割

本人・家族の支援

本人または家族、医療機関や就業先などから相談を受けると、ニーズの把握と課題の整理を行い、支援が必要な領域を選定。支援チームを編成し、その人にあったサポートを行えるよう調整を図る役割を担います。

● 医療機関受診のサポート

適切な診療科を受診できるよう助言し、受診に同行することもあります。医療機関のソーシャルワーカーなどと連携し、自立支援医療や障害者手帳、障害年金などの経済的な支援制度の活用をすすめます。

● 家族への支援

認知症の診断を受けた際には、本人とともに家族もショックを受けることが多く、話をじっくり聞き、家族の生活を含めたサポートを行います。在学中・進学を控えた子どもがいる場合やローン返済中の方も多いため、経済的な見直しなどの相談にものります。

● 職場との連携

就労の希望がある場合には、診断後も仕事を続けられるよう企業との調整を図り、就労支援の専門機関介入のもと症状に応じた働き方を提案。企業側も従業員が若年性認知症に罹患するケースにはじめて遭遇することが多く、企業側に適切な配慮を促進することも重要な役割です。

● 社会参加のすすめ

本人のニーズにあわせ、障害福祉サービスでの福祉的就労や当事者同士の交流会などのピアサポート（同じ立場のもの同士が支え合う）の場などへの参加を促し、社会とのかかわりを保つことができるようサポートします。

普及啓発活動

毎年、市民向け講演会を開催。今年度は当事者の声を市民に届ける講演会を開催し、動画を配信したりリーフレットを配布しました。さらに、区役所やいきいき支援センター、障害者基幹相談支援センター、医療機関のソーシャルワーカー向けの研修なども実施しています。他、市内全域に支援体制を構築するためのネットワーク会議も開催しています。

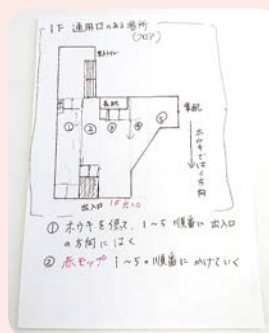
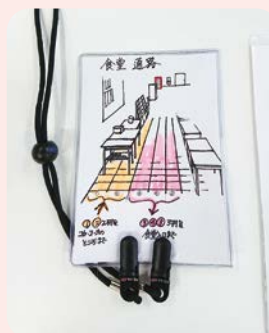


市民向け講演会



専門職向け研修会

支援事例



一般企業での就労を継続したケース

職場でのミスが増え、退職を勧められていたAさん。働き続けたいとの思いを汲み、コーディネーターが障害者職業センターと連携。Aさんの状態を適切に評価し、ジョブコーチ支援で、業務内容を調整する提案を実施。無理なく能力を生かした環境を得ることができ、企業側も納得して就労を続けました。

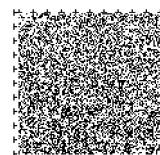


社会との関わりで自信を取り戻したケース

一般企業を退職したBさん。まだ社会の役に立ちたいとの思いを汲み、コーディネーターが障害福祉サービスの就労継続支援事業所での就労をすすめました。福祉的就労を通じて居場所とやりがいを見つけることができました。働きながら社会参加を続けることで、以前の自信を少しずつ取り戻していきました。

社会参加の様子

近藤 葉子さん
土赤 伸生さん
(YouTube)



「つながり」づくりで孤立感を軽減

同じ立場の方々が思いをともにし、情報交換するための若年性認知症本人・家族交流会「あゆみの会」を毎月開催し、毎回40～50人が参加しています。本人同士や家族同士で悩みや生活の工夫などを共有するだけではなく、お互いが連絡先を交換して会以外での交流も広がっています。

前向きに生きることをサポートするチームをつくりたい

若年性認知症に対する認知度はまだまだ低く、企業や一般市民、支援に携わる専門職への理解を広げる必要があります。特に社会参加への配慮や就労を継続するための支援が不足している現状があり、石黒さんらは「企業などへの普及啓発活動を推進するとともに、医療や福祉の専門職が若年性認知症を理解し、適切にサポートできるよう研修やネットワークづくりにも力を入れていきたい」、「若年性認知症者は、認知症高齢者に比べたら数が少ないことでなかなか認知されていませんが、数が少ないがゆえに把握できれば支援が行き届くと考えています。」と語ります。

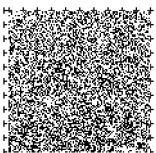
必要な人に支援が届き、本人や家族が前向きに生きられるようにサポートするチームとともに希望をもって暮らしてほしい。認知症と診断されてもあたりまえのように自分らしく過ごせるまちをつくりたい。若年性認知症とともに生きる人たちの支援に携わる皆さんの願いです。

あゆみの会10年の軌跡 (YouTube)



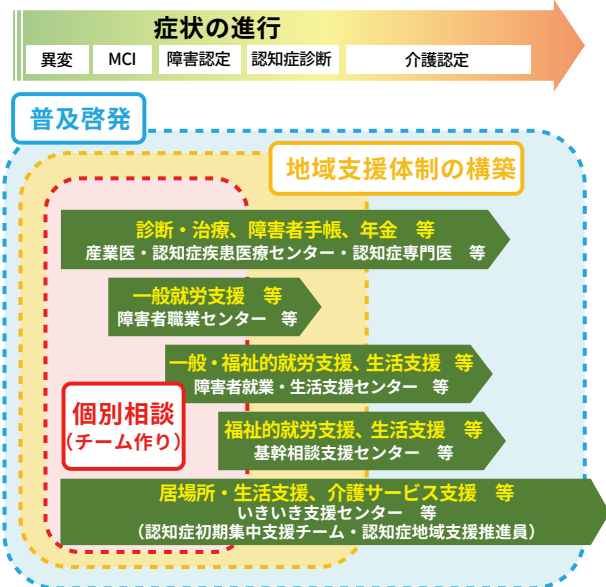
お問い合わせ

名古屋市認知症相談支援センター
TEL : (052) 734-7079
Eメール:n-renkei@nagoya-shakyo.or.jp
〒466-0027
名古屋市昭和区阿由知通3-19
昭和区役所6階



若年性認知症本人・家族交流会「あゆみの会」

若年性認知症支援コーディネーターの役割



平成28年度老人保健健康増進等事業「若年性認知症の人の生きがいづくりや就労支援のあり方に関する調査研究事業」認知症介護研究・研修大府センター
名古屋市認知症相談支援センター山口部加筆

『なごや認知症の人おでかけあんしん保険事業』のご紹介

認知症の人が起こした事故に関する

損害賠償等の補償事業です。

加入対象者は名古屋市民かつ

認知症の診断を受けている人。

補償内容 賠償責任保険

- 上限2億円 / 給付金
- 上限3千万円 / 見舞金15万円

賠償責任保険は、事故を起こした本人または監督義務者（家族等）に賠償責任が認められた場合に保険金を払います。給付金及び見舞金は誰も賠償責任を負わない事故で、一定の要件を満たした場合に事故の相手方に支払われるものです。

利用者負担額 **無** ※ただし診断書料（初回のみ必要）は自己負担です。

名古屋市
ホームページ



Vol. 60 今回は…名東区社会福祉協議会

教室に入れず悩む親子の安心できる居場所「親と子のつどいの場」

「親と子のつどいの場」は、さまざまな理由で教室に入れず悩む子どもとその親が集い、安心して悩みを共有できる場所です。名東学区地域福祉推進協議会と名東区社協の協力のもと、令和4年12月からスタート。企画・運営に関わる皆さんにお話を伺いました。

親たちの悩みが、 結びついて

きっかけは、ある親御さんが抱えた「学校には登校できるが、教室には入れず、校内の相談室で過ごしている」という悩みでした。解決策が見つからず悩んでいたところ、実は同様のお子さんがあることを知り、区社協に相談後、学区役員に話をもちかけたことが始まりです。「親御さんの多くが誰にも相談できず、孤立しがち。だからこそ、同じ悩みを抱える親子がつながれる機会を学区で作っていかなくてはと感じた」と、立ち上げメンバーの民生会長新井さんは話します。

親も子ども、 安心して交流できるように

「親と子のつどいの場」は、小学校の各学期末に、名東コミュニティセンターで開催されています。毎回6～7組の親子の参加があり、コミセンの2階では親たちが膝をつき合わせて交流を深め、1階には子どもたちが自由に過ごせるよう工作や折り紙、ボウリングゲームなど遊び場を用意しています。

外国籍で教科書を読むことが不安な子、給食の時間が苦手な子、皆さんの事情はさまざまですが、参加者からは「ほかの親御さんと話すなかでわたしだけじゃないんだと思え、心が軽くなった」「学校とは別に居場所があるといい」という声が寄せられているといいます。

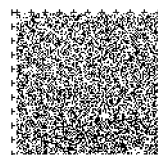
誰かの変化や成長が、 支えに

この場をきっかけに、LINEグループが立ち上がり、つどいの場以外でも交流を続けたりする様子も見られるように。抜本的な状況の改善や成果が目に見えて現れているわけではないものの、「新学期から教室に入れるようになったよ」といった一人一人のちょっとした変化が、皆の支えにもなっているといいます。

また、学校とも徐々に話ができる関係に。「お子さんのために毎日学校に付き添い、お昼ごはんも持参できず、いすもない廊下で待つ寒さや孤独を感じていた親御さんの思いを学校に伝えたところ、待機場所の提供が用意されるように。でも、それだけでは不十分。親子が抱える問題をもっと深く理解してほしい」と宮崎さん。



次ページへ続く



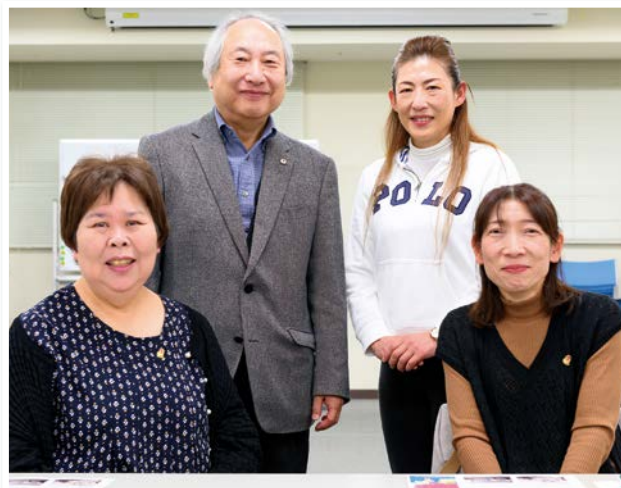
今後の展望



当初、立ち上げメンバーは「教室に入れない子がゼロになること」を目標に掲げていましたが、「学校に行くことが本当にゴールなのか？」という親御さんの声を聴き、気づかされたと話します。大切なのは、「親と子が孤立することなく、支え合う場を提供し続ける」こと。さらに、「親御さんの声を学校に伝え、この場の存在をもっと周知いただけるように連携を図っていきたい」と話してくださいました。

お問い合わせ

名東区社会福祉協議会
住所：名古屋市名東区上社一丁目802番地
TEL：052-726-8664



「親と子のつどいの場」を支える皆さん
[左上] 名東学区連絡協議会・地域福祉推進協議会 会長 宮崎 俊男さん
[左前] 名東学区民生委員児童委員協議会 会長 新井 佳代子さん、
[右前] 主任児童委員 板津 孝代さん
[右上] 名東区社会福祉協議会 夏目 知子さん

リレートーク

想いを つなぐ リレートーク 60

椋山女学園大学附属椋山こども園

1905年（明治38年）に創立した学校法人椋山女学園には、119年の歴史と伝統があります。その椋山女学園の設置する椋山女学園大学附属椋山こども園が平成31年4月に開園しました。5年が過ぎたばかりのまだまだ新しい園です。工夫が凝らされた空間や間接照明が優しい光を届けてくれる木造平屋建ての園舎は、127名の子どもたちを出迎え、温かく包み込みながら一日を見守っています。

椋山女学園の教育理念は「人間になろう」です。人間になろうとは、「ひとを大切にできる」「ひとと支え合える」「自らががんばれる人間になる」の3つが「人間になる」ことであると考えられています。子どもたち一人ひとりを大切に支えていくことが「人間になろう」に繋がっていくのではないかと考え、職員一同、力を合わせて教育・保育を展開しています。

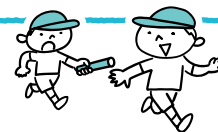
椋山こども園は椋山女学園大学星が丘キャンパスに隣接しています。授業や実習等で教育学部はじめ他学部の教員や学生が来園します。子どもたちは学生との関わりを楽しんでいます。園には職員と学生が協力して、耕して作った畑があります。今年も子どもたちと学生と一緒に育てた季節の野菜をたくさん収穫しました。

様々な経験を通して、子どもたちの成長と共に椋山こども園の歴史を積み重ねて行きたいと思っています。

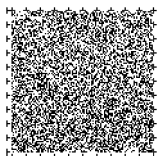


次回は

社会福祉法人なごや福祉施設協会
なごやかハウス福原
(ケアハウス福原)



へバトンタッチ



旬ボラ[☆]に行く!

月初めの活動は
子どもたちと共に。



ほっと
はあと

01

ホタルの息づく公園を地元で守る 【雨池ホタルの会】

(インタビュー：旅する食いしん坊YM)

守山区で活動する『雨池ホタルの会』(会長：岡村稜さん)を取材しました。雨池公園は市が1000か所目の公園として設置、隣接する小学校とゆるやかにつながる学校公園として位置付けられた貴重な公園です。おとなメンバーの思いにこたえるように、取材当日も地区のトワイライトスクール(小学校の放課後児童クラブ)の子どもたちが楽しそうに参加していました。今回は、雨池周辺の清掃活動に同行しながらお話をうかがいました。

●活動のきっかけ

1998年、雨池周辺でホタルが見つかったことがきっかけとなって地元の人たちがホタル生息地の保全に立ち上がりました。身近な自然や生き物を慈しむ心は、大切な郷土を後世に引き継ぐために不可欠だとの思いからPTA役員を中心とする有志が地域の皆さんに呼びかけてホタルの会を創りました。間もなく会は創設30年の節目の時を迎えます。

●活動内容

活動は公園エリアを含みますから、行政諸機関との協働は必須です。私たちが名古屋市『緑のパートナー』や守山区の『守山自然ふれあいスクール主催団体』として活動するのもそのため、各方面との連携を図りながら次のような活動を進めています。

●皆さんから読者へのメッセージをどうぞ。

雨池周辺にいるのは主にヒメボタルという種類のホタルです。ホタルは水辺のせせらぎ近くにいますと思われていますが、ヒメボタルは陸生で、えさも陸貝が中心です。雨池公園は市民に開かれた公園ですが、長い年月をかけて私たち地元民が守り育ててきた公園でもあります。毎年、ホタル観察会をしますが、ホタルを通して自然環境を護るという気持ちを忘れずに参加していただきたいと思います。園地は広く、活動は多岐にわたります。公園近隣の皆さんが一人でも多く活動に参加してくださるよう期待しています。

名古屋市長の歩み(取材メモから)

- 名古屋市「緑化都市宣言」…………… 1978
- 雨池公園創設…………… 1988
- 『雨池ホタルの会』創設…………… 1998
- COP10第10回生物多様性条約締約国会議…………… 2010 於・名古屋
- 名古屋市「みどりの基本計画 2030」…………… 2021
- なごや生物多様性センター
<https://ikimono.city.nagoya.jp/>

定期的活動

雨池公園周辺の清掃活動(第2・第4土曜日)

定例活動

- 1 雨池に関わる小川の水質浄化
- 2 公園周辺の桜並木の保全
- 3 ヒメボタルの保護・研究

子ども会等との地域活動

- 1 餅つき大会(3月第1土曜日)
- 2 ホタル観察会(5月下旬)
- 3 夏だ!元気に遊ぼう会(実施時期を検討中)

その他、不定期ですが雨池周辺を彩る桜を保全するための活動成果の発表もしています。



雨池周辺を約30分かけて、土に還らないごみを拾います。



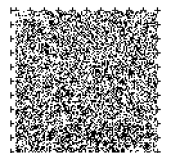
子どもたちの絵を
掲示して環境保全を
呼びかけます。



植物への関心も丁寧に
答えておられました。

【お問い合わせ】

雨池ホタルの会 代表 岡村稜
電話 090-9924-9964 メール tymmoka@gmail.com



きらっと ボランティア・NPOらいぶ



ほっと
はあと

02



どんな人でも「助けて」と 声をあげられる社会を目指して 【ボランティアオアシス+野宿者を支援する会】



東岡さん(左)と
西川さん(右)

長年、野宿生活者や生活困窮者を支援する活動を続けている「ボランティアオアシス」西川直希さん、「野宿者を支援する会」東岡牧さんのお二人に、現在に至るまでの活動のきっかけや支援を通じた関係性などお話しいただきました。

●それぞれの活動のきっかけとは。

西川さん) ※以降、西) 友達から誘われたのがきっかけで2005年から活動に参加しました。半年後に先代のリーダーより代表を引き継いで活動しています。

東岡さん) ※以降、東) 私は小学校4年生の時に海外医療をやりたくて、看護学生時代に海外医療の勉強のために、釜ヶ崎(大阪市)に行ったんです。本当に路上で亡くなっている人を目の当たりにして、「海外医療」と言っている場合ではないと。そこからずっと生活困窮者の支援に関わっていて、私の居場所はここだと感じたし、生涯かけてやると思った。今は、週3は訪問看護の仕事、週2は路上生活者支援。訪問看護の担当も路上出身者が多いです。

西) だから最後まで面倒が見られるんです。

●団体の垣根を超えた名古屋の活動ネットワーク

東) 私たちは「われらの会」という数団体の支援者個人のLINEグループを作っています。情報をLINEで報告すると、お互いのネットワークを活かして対応できる人が現場に出かけます。オアシスの夜回りで、体調不良者を救急搬送することがあった時も、病院や役所との対応経験がある私が担当するなど、それぞれの得意、持ち場を活かしてやっていることが名古屋のすごいところだと思う。

西) 僕たちオアシスは基本的に素人の集まりだから自分たちではできないことが多いんです。昼間は仕事で夜しか動けないけど、機動力がある。だから他の団体ができないことを僕たちがやっている。僕たちができないことは他の支援団体にカバーしてもらっています。

西) 僕たちが夜回りを始めたきっかけは、僕らが炊き出しで配るのは一瞬だから。夜回りは来れない人にも届けられる。行ったら話ができる。顔を覚えてくれる。そうしたら生活保護など支援の話もできるようになる。月に2回まわることを覚えてくれたら「助けて」って緊急の時にも言えることにつながる、それが大事だと考えています。僕はいつも赤い服。名前を覚えなくても、赤い服が来たと覚えてもらえるから。

東) 支援から逃げ出す人もいるけれど、必ず見つける。どこに行ってもサポートする。これが自分のSDGsだと思う。

●活動の原動力は、仲間の支え。

東) 活動で訪ねた先で、テントで亡くなっているのを発見した時はショックだった。「野宿者を支援する」と看板立ててるのに、野宿者を支援できてないじゃないかと落ち込んだ。でも仲間が悲しみや悔しさを共有してくれて「やるだけやった、次頑張ろう」と支えてくれたから今がある。

西) お互いに助け合えるし、励まし合える仲間だよ。

東) その悲しさからパワー、次のエネルギーになってて。

西) 僕たちの活動は終わりが無い活動だと思っています。僕は先代からリーダーを引き継いだ時に、僕自身大した能力がないから、この活動はやめないと決めた。でも、できないことが多いからいろんな人を巻き込み、逆にこの場所があるからこそ、いろんな人に関わってもらえる。いろんな人が参加しながら理解してくれる仲間を作ることが世の中の受け皿になる。だからこの場所をなくさない、やめないと決めています。

東) 私は、何年も待って、本人の意思を尊重することを大切にしています。信頼関係がないとできない。助けを呼ぶ人に時間は関係ないし、助けて欲しい時に助けられるタイミングが大事だと思うから。探さないでという意思があれば、探さない。前向きに生きようとしている人もある。見守って欲しいと。「困った時は助けて」と言える環境をつくる必要があると思っています。

●二人から読者へ伝えたいこと。

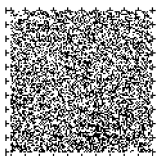
どんな人でも困ったことは声を挙げて欲しい。「助けて」と言える社会を、助け合う社会じゃないと助からない。困ったと話せる環境を作るためにも、困った人がいれば声をかけてほしいです。

炊き出し支援にはいつも協力してくれているボランティアを募集しています。活動希望の方は毎週火曜日19時に若宮大通りゲートボール広場へお越しください。また炊き出し時に配布する食料や日用品などの寄付も募集しています。ご協力いただける方は問い合わせ先までご連絡ください。

昼間の見回りで
散髪も行います
東岡さん



オアシスの活動は夜



【お問い合わせ】

ボランティア
オアシス▶



野宿者を
支援する会▶



なごやボウめぐり

ほっと
はあと

03

(マジック)

西区『マジック』代表の森さんにお話を聞かせていただきました。



●マジックとは

マジックQは平成27年に設立したマジックを披露するボランティア団体です。トワイライトスクールや高齢者はつつ長寿推進事業、老人会、女性会、子ども会、施設などへ伺いマジックの披露を行っています。皆さんとても楽しんでくださるので、年々依頼も増えてきて去年は50件ほどのご依頼に応えさせていただきました。

●森さんがマジックを始めた理由は？

私が初めてマジックに触れたのは、老人クラブでマジックを見た時でした。もう10年以上前のことですが、当時住んでいた地区の老人クラブでの行事をきっかけにマジックに興味を持ち、近くにマジックを教えてくれる先生もいたので、どんどんマジックにのめり込んでいきました。そして、10年ほど前に西区へ引っ越してきたときに、仲間たちとマジックQを立ち上げました。

また、西区に引っ越してきてすぐに伏見にある高年大学に通っていたのですが、そこで中区社会福祉協議会とつながりができたことで、中区内のサロンにもたくさんマジックを披露しに行くようになりました。高年大学内にも多くのマジック仲間がいて、マジックのおかげで本当に充実した生活を送れています。

●マジックの魅力は？

やっぱり、マジックはみんなを笑顔にする素敵な催しだと思います。どこに披露に行っても会場のみなさんが笑顔で「すごーい!」「もう1回やってー!」と言ってくれるのが私も本当に嬉しいです。団体を設立してから9年経ちましたが、どんどん輪が広がっていき、色々な人から依頼をもらうようになりました。お客さんが多すぎて手が震えてしまうような時もありますが、今後も続けられるうちはみんなの笑顔のために活動していけたらいいなと思います。

●マジックQの今後の展望は？

おかげさまで充分すぎる量の依頼をもらっていますので、現状を維持して活動していけたらと思います。ボランティアは人のために活動するのはもちろんですが、活動先で喜んでもらえると自分も元気をもらえます。これからも、人のため、そして自分の元気のためにも無理なく続けていきたいと思っています。

ちょっと宣伝ですが、来年度マジックボランティアの養成講座を西区で開催予定です。マジックを使ってボランティアしてみたい方はぜひ受講してみてください。



代表の森さん



ボランティアまつりでのマジック披露



活動の様子

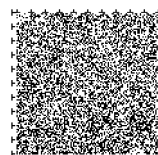


【お問い合わせ】

西区社会福祉協議会
電話:532-9076 FAX:532-9082

ひとこと ほっとはあと

健康には自信があったのですが、ずいぶん久しぶりの高熱と、全然治らないぼっこり腫れた扁桃腺のために仕事を休み、楽しみにしていた友人との食事会もキャンセルに。やっと回復して仕事復帰する日も、まだ内心うちひしがれていたのですが、職場の学校で同僚の先生方や生徒のみなさんから「おかえり!もう大丈夫?」「大変でしたね。」「先生、熱出ちゃったんですか?」と、顔を見るなり何気ない気遣いの声をたくさん掛けてもらいました。こんなにありがたいかと、感謝で胸がいっぱいでした。体と一緒に弱った心に、いちばん効いたやさしいお薬でした。(ペンネーム:ねこめい)



からだに
優しい

いきいきレシピ



旬の食材で栄養満点&ヘルシーデザート♪ /

いちごの豆腐ムース

アントシアニンとイソフラボン、二つのポリフェノールの相乗効果で抗酸化力アップ！美容と健康に優れた一品です。豆腐を使うことで、低カロリーでありながら驚くほどクリーミーな食感を実現しています。

材 料 (2人分)

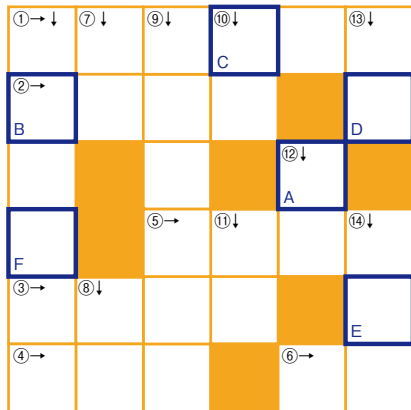
- いちご……………80g
(Mサイズで8個程度)
- 絹ごし豆腐……………150g
- 砂糖……………大さじ1
- レモン汁……………小さじ1
- 飾り用いちご……………2個

- 1 豆腐はペーパータオルに包んだ状態で耐熱皿にのせ、電子レンジ(600w)で1分40秒ほど加熱。しっかり水けを切って冷ます。
- 2 水切りした①を裏ごしして、すりつぶしたいちご、砂糖、レモン汁を入れ、なめらかになるまでかきまぜる。※ミキサーを使うと簡単です。
- 3 器に②を注ぎ、冷蔵庫で1時間冷やし、飾り用いちごをのせて出来上がり。

プレゼントつきクイズ

クロスワードパズルを解いて、プレゼントをもらおう！

タテ、ヨコのカギを解いて色枠に入った文字をA~Fの順に並べると、ある言葉になります。



ヨコのカギ

- ① さつまいもを使った、蜜でコーティングされたお菓子。
- ② 泳ぐときに必要な呼吸の技術は？
- ③ スーツケースやトランクなどを総称する言葉。
- ④ ケガやダメージがない状態。○○○で助かる
- ⑤ 道端にゴミを捨てる行為。
- ⑥ 食べる際に調理師の免許が必要な魚。

タテのカギ

- ① 鉄道用語で、列車の運転状況を一覧にした図表。
- ⑦ 冬になると白くなる、口や鼻から吐くもの。
- ⑧ 舞台などで行われるお芝居。
- ⑨ 試合に勝ったときに見せる喜びのポーズは？
- ⑩ あらかじめ念を押すこと。○○を刺す
- ⑪ 自分の考えを押し通そうとすること。○○を張る
- ⑫ 持続可能な発展を目指すためのキーワード。○○ティナブル
- ⑬ 木がたくさん生い茂っている場所。
- ⑭ 自分の能力を過信して、○○○になる。

応募要項

郵便はがきに①問題の答え、②住所、③氏名、④「ふれあい名古屋」本号で興味のある記事と理由、本紙に対するご意見を書いて下記までお送りください。

〒462-8558 名古屋市北区清水四丁目17-1
名古屋社会福祉協議会
「ふれあい名古屋」係

締切は2025年 3月31日必着

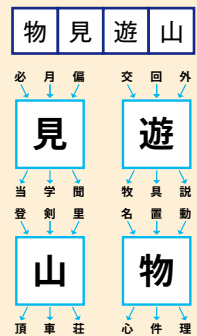
正解発表

2025年夏号誌上にて発表。正解者の中から抽選で10名様に名古屋市総合社会福祉会館にて展示・販売中の授産施設製品の中から500円相当の品を差し上げます。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

個人情報について

応募いただいた個人情報は賞品の発送および本紙の企画以外に利用したり、第三者には提供しません。いただいたご意見・ご感想の一部を次号の「読者の声」でご紹介させていただきます。

前回の答え



前号ふれあい名古屋12月号より

読者の声

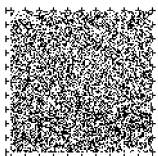
「旬ボラを行く！」について

こどもホスピスが現在日本に2つしかないという事実に驚いた。愛知に早く設立できることを願います。子どもとその家族が使える「心の居場所」という言葉に共感しました。家族全体を支える「こどもホスピス」の必要性はとても重いと思います。もっとこのことを広く世の中に知らせることが大切だと強く強く思います。

特集「鯉城学園」について

私も10年以上前に当学園を卒業し、地域活動に目覚めたものです。当時の内容とはすっかり様変わりしておりますが、とても興味深く拝聴させて頂きました。今後も民間機関として幅広く柔軟に活動する「社協」の内容を報道して下さい。

おたより
ありがとう
ございました



＼ わたしたちは名古屋市社会福祉協議会です ／
 - 「誰もが安心して笑顔で暮らす福祉のまち名古屋」の実現のために -

地域住民同士の助け合いを
サポートします



- 地域支えあい事業
- ふれあい・いきいきサロン活動
- 地域福祉推進協議会（推進協）の支援

住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、住民が主体のまちづくりを支援しています。

生活の困りごとの
解決を支援します



- いきいき支援センター
- 仕事・暮らし自立サポートセンター
- 住まいサポートなごや

本人やご家族などから生活の課題についてのご相談を受け、解決に向けて関係機関と協力しながら支援します。

ボランティア活動・
福祉教育を推進します



- ボランティアセンター事業

ボランティアやNPO活動に関する情報発信や、ボランティアしたい方としてほしい方のマッチングを行います。
 市内のボランティア団体のネットワークづくりも行っています。

判断能力に不安のある方の
暮らしや財産を守ります



- 日常生活自立支援事業
- 高齢者・障害者権利擁護事業
- 法人後見事業

障がいや認知症などで判断能力に不安がある方の金銭管理や、成年後見制度に関する相談、申立ての支援を行っています。

在宅福祉サービスで
その人らしさを応援します

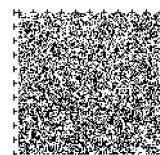


- なごやかヘルプ事業
- 居宅介護支援事業
- デイサービスの支援

ホームヘルパー（なごやかスタッフなど）の派遣や居宅サービス計画の作成などを通して、高齢者や障がいのある方の生活を応援します。

他にもこんな取り組みがあります

- 指定管理施設の運営
（とだがわこどもランド、鯉城学園、総合社会福祉会館）
- 福祉サービス苦情相談センター
- 福祉基金の運営



ご寄付・ご寄託・賛助会員のご紹介

ご寄付ありがとうございました

令和6年10月16日～令和7年1月15日受付分（敬称略、順不同）

福祉基金への寄付

フクシマガリレイ株式会社中部支社 / 崇覚寺 / 小椋 雄一 / 宗教法人真如苑 / 一般社団法人 中部シニア活性化機構 / 一般社団法人みつわ / 令和6年度名古屋市公立保育園退職園長一同 / なごやかスタッフのつどい募金箱 / 匿名16件

市社会福祉協議会への寄付

匿名6件

なごや・よりどころサポート基金への寄付

匿名1件

市社協サポーター（賛助会員）のご紹介

令和5年度・6年度会員（令和7年1月15日現在）（敬称略・順不同）

仁木 雅子 / 小池 博美 / 株式会社マルワ / 鷲見 修 / 木村 剛 / 株式会社せがわ住機 / タック株式会社 / 富田 哲生 / 三谷 洋一 / 北村 泰幸 / 株式会社サンエネック / 上村 成良 / 永井 瑛賓 / Kのキンバ / 越俣 加絵 / 水谷 嶺 / 東洋羽毛東海販売株式会社 / 株式会社ウイングス / 石田 栄美子 / 立松 博 / 王 神 / カシワギ電気株式会社 / 竹中 規子 / 船木 陽子 / 株式会社ラングローバル / 株式会社Progress / 新田 洸平 / 匿名8件

ご寄託ありがとうございました

使用済切手・書き損じはがき・使用済テレホンカード等

令和6年10月16日～令和7年1月15日受付分（敬称略）

神谷 美鈴 / 名古屋市信用保証協会 / 財団法人名古屋市高齢者療養サービス事業団 / 中本 美千子 / 齊藤 都奈美 / 稲熊 敏長 / 井澤 美紀子 / 宮本 一成 / 牧野 敏子 / 山本 よし子 / ハリキッテ・友の会 / 愛知時計電機株式会社 / 桜花学園高等学校インターアクトクラブ / 緑区はつらつクラブ / 有限会社伸和保険事務所 / 福岡 典子 / 荒子川公園 / めばえ保育園ふたばの会 / 天白まちづくりサポータークラブ / 港北幼稚園 / 愛知県立松蔭高等学校JRC部 / UBEマシナリー労働組合 / 朗読グループ花ことば / フォーユー（名古屋市総合リハビリテーションセンター利用者の皆さま） / 伊藤恭子 / 瑞穂鯨城会 / 北鯨城会 / 認定NPO法人CAPNA

千種・東・北・中村・昭和・瑞穂・守山・緑・天白区社会福祉協議会受付分

匿名15件

ご寄託いただいた使用済切手等は、次の団体に送付しました。

団体名	活用方法
公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会	保健医療協力 奨学金援助
タンザニア・ポレポレクラブ	アフリカ緑化支援

※使用済切手の仕分け整理は、「ポストの会」と「なごや北-男ディ倶楽部」の皆様にご協力いただきました。

※使用済み切手・書き損じはがき・ベルマークなどの寄付希望がありましたら、名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお届けください。お届けの際は、本広報誌へのお名前掲載の可否及び郵送希望の有無をお知らせください。

社協からの お知らせ

▶ 共同募金へのご協力ありがとうございました

昨年10月1日から12月31日まで実施しました共同募金運動では、市民の皆様から、たくさんの募金が寄せられました。心より厚くお礼申し上げます。寄せられた募金は、市区社会福祉協議会に配分され、お住まいの地域の社会福祉事業の推進や、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らせるための福祉活動等への配分に活用させていただくほか、市町村を超えた広域的な課題を解決するため、全県規模の活動にも活用されます。募金の実績及び配分先は、愛知県共同募金会ホームページ<http://www.aichiakaihane.or.jp/>でも紹介しています。

お問い合わせ先

名古屋市共同募金委員会
TEL : 052-911-3192
FAX : 052-913-8553



ホームページ
はねっと



ひとに、ひたむきに。
社会福祉法人
名古屋市社会福祉協議会

〒462-8558

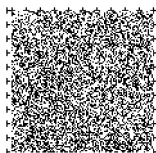
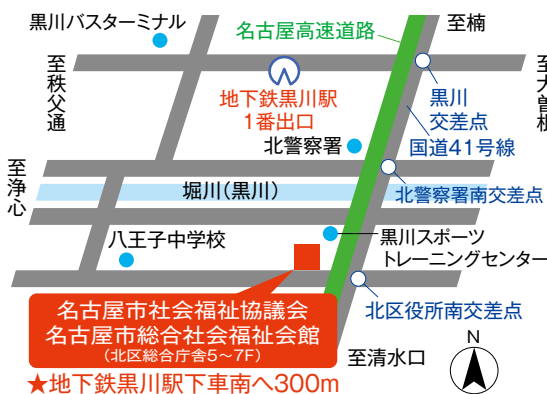
名古屋市北区清水四丁目17番1号
名古屋市総合社会福祉会館内



TEL 052-911-3192 FAX 052-913-8553

ホームページ : <https://www.nagoya-shakyo.jp/>

E-mail : nagoyaVC@nagoya-shakyo.or.jp



※この広報紙は福祉基金を活用して作成しています。
※この広報紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。
※市内社会福祉施設、民生委員・児童委員、大学などへの配布及び公共施設に配架しています。
広報紙「ふれあい名古屋No.148」
発行日：令和7年3月1日 発行部数：13,000部